

2023年5月12日

各位

会社名 BBDイニシアティブ株式会社
代表者名 代表取締役社長 グループ CEO 稲葉雄一
(コード番号 5259 東証グロース)
問合せ先 取締役 グループ CFO 佐藤幸恵
(TEL 03-5405-8120)

上場廃止となった子会社（ナレッジスイート株式会社）に関する決算開示について

2023年4月3日をもって完全子会社化しましたナレッジスイート株式会社に関する「2023年9月期 第2四半期決算短信（2022年10月1日～2023年3月31日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、BBDイニシアティブ株式会社の2023年9月期連結業績予想につきましては、2023年4月3日公表の「BBDイニシアティブ株式会社の設立及び2023年9月期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

以上

2023年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2023年5月12日

上場会社名 BBDイニシアティブ株式会社（ナレッジスイート株式会社分） 上場取引所 東
 コード番号 5259 URL https://bbdi.co.jp

代表者（役職名） 代表取締役社長 グル（氏名） 稲葉 雄一
 ーPCEO

問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO（氏名） 佐藤 幸恵 (TEL) 03-5405-8120

四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け) (百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,743	10.3	94	19.1	87	20.7	77	9.4	79	14.7
2022年9月期第2四半期	1,580	36.2	79	—	72	—	70	—	69	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	14.89	14.79
2022年9月期第2四半期	13.63	13.53

(注) 上記はナレッジスイート株式会社の連結経営成績であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	3,708	1,130	1,130	30.5
2022年9月期	3,431	1,023	1,023	29.8

(注) 上記はナレッジスイート株式会社の連結財政状態であります。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2023年9月期第2四半期末の配当実績はナレッジスイート株式会社の配当実績であります。
 3. 2023年9月期期末の配当予想はBBDイニシアティブ株式会社の配当予想であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,834 ～4,071	18.5 ～25.9	213 ～249	74.0 ～103.0

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 上記はBBDイニシアティブ株式会社の2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名) ー 、除外 ー社(社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期2Q	5,196,221株	2022年9月期	5,162,300株
2023年9月期2Q	ー株	2022年9月期	143株
2023年9月期2Q	5,172,382株	2022年9月期2Q	5,161,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示しています。また、2023年5月18日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和に伴う社会経済活動の正常化が進行しましたが、一方で、資源・原材料価格の高騰と物価上昇などによる経済活動への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループの事業領域では、デジタルトランスフォーメーション（DX）への機運の高まりによる営業DX化が中堅・中小企業においても徐々に浸透してきており、また生産労働人口の減少に伴うIT人材不足への懸念が増しているなか、当社グループの提供サービスへの需要は、より一層高まっているものと認識しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は1,743,084千円（前年同期比10.3%増）、営業利益は94,431千円（前年同期比19.1%増）、税引前四半期利益は87,412千円（前年同期比20.7%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は77,002千円（前年同期比9.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第2四半期連結累計期間においては、新たに提供を開始したサブスクリプション型タレント広告体験サービス「ビジネスブースト」が引き続きSaaS売上を牽引しました。

SaaS売上収益は前年同期比31.4%増、グループSaaSARR（※1）は1,443百万円となりました。

これらの結果、売上収益は824,774千円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は165,952千円（前年同期比37.2%増）となりました。

※1 グループSaaSARR：2023年3月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。ARRはAnnual Recurring Revenueの略。年次経常収益。MRRはMonthly Recurring Revenue。月間経常収益。

② BPO事業

当第2四半期連結累計期間においては、ビジネスパートナーからのITエンジニア調達に苦戦し、SES売上収益は前年同期比7.1%増となりました。

これらの結果、売上収益は918,309千円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は144,851千円（前年同期比24.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は1,211,027千円となり、前連結会計年度末に比べ36,486千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加28,125千円、営業債権及びその他の債権の減少45,311千円、その他の流動資産の減少18,567千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の非流動資産は2,497,007千円となり、前連結会計年度末に比べ313,325千円増加しました。これは主に、使用権資産の増加188,980千円、無形資産の増加110,564千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,708,034千円となり、前連結会計年度末に比べ276,838千円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は1,561,853千円となり、前連結会計年度末に比べ47,019千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加45,908千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の非流動負債は1,015,856千円となり、前連結会計年度末に比べ123,020千円増加しました。これは主に、リース負債の増加179,709千円、有利子負債の減少55,611千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は2,577,710千円となり、前連結会計年度末に比べ170,039

千円増加しました。

（資本）

当第2四半期連結会計期間末の資本は1,130,324千円となり、前連結会計年度末に比べ106,798千円増加しました。これは主に、新株の発行による資本金の増加10,490千円及び資本剰余金の増加10,490千円、四半期純利益の計上77,002千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し、30.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において通期の連結業績予想の変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		722,959	751,085
営業債権及びその他の債権		429,732	384,421
棚卸資産		2,337	1,603
その他の流動資産		92,484	73,917
流動資産合計		1,247,514	1,211,027
非流動資産			
有形固定資産		63,297	57,625
使用権資産		194,050	383,031
のれん		628,060	628,060
無形資産		1,107,523	1,218,087
その他の金融資産		89,874	107,976
繰延税金資産		100,874	102,225
非流動資産合計		2,183,681	2,497,007
資産合計		3,431,196	3,708,034

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	156,832	163,033
契約負債	31,124	46,851
有利子負債	1,029,506	1,075,414
リース負債	92,782	99,394
未払法人所得税	20,645	14,772
その他の流動負債	183,942	162,387
流動負債合計	1,514,834	1,561,853
非流動負債		
有利子負債	752,710	697,099
リース負債	81,686	261,396
引当金	39,280	39,361
繰延税金負債	19,158	18,000
非流動負債合計	892,836	1,015,856
負債合計	2,407,670	2,577,710
資本		
資本金	700,696	711,186
資本剰余金	260,806	277,254
利益剰余金	64,747	141,750
自己株式	△192	-
その他の資本の構成要素	△2,533	132
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,023,525	1,130,324
資本合計	1,023,525	1,130,324
負債及び資本合計	3,431,196	3,708,034

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上収益		1,580,833	1,743,084
売上原価		905,335	972,624
売上総利益		675,498	770,460
販売費及び一般管理費		620,805	678,171
その他の収益		25,730	4,732
その他の費用		1,127	2,590
営業利益		79,295	94,431
金融収益		3	3
金融費用		6,884	7,022
税引前四半期利益		72,414	87,412
法人所得税費用		2,055	10,409
四半期利益		70,359	77,002
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		70,359	77,002
四半期利益		70,359	77,002
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		13.63	14.89
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		13.53	14.79

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	注記	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2022年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）
四半期利益		70,359	77,002
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品		△896	2,665
その他の包括利益合計		△896	2,665
四半期包括利益		69,463	79,667
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		69,463	79,667
四半期包括利益		69,463	79,667

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2021年10月1日残高	700,501	644,937	△456,289	△192	5,301	894,257	894,257
四半期利益	—	—	70,359	—	—	70,359	70,359
その他の包括利益	—	—	—	—	△896	△896	△896
四半期包括利益合計	—	—	70,359	—	△896	69,463	69,463
新株の発行	195	195	—	—	—	390	390
株式報酬取引	—	6,204	—	—	—	6,204	6,204
欠損填補	—	△396,735	396,735	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	195	△390,335	396,735	—	—	6,594	6,594
2022年3月31日残高	700,696	254,601	10,805	△192	4,405	970,316	970,316

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2022年10月1日残高	700,696	260,806	64,747	△192	△2,533	1,023,525	1,023,525
四半期利益	—	—	77,002	—	—	77,002	77,002
その他の包括利益	—	—	—	—	2,665	2,665	2,665
四半期包括利益合計	—	—	77,002	—	2,665	79,667	79,667
新株の発行	10,490	10,490	—	—	—	20,980	20,980
自己株式の消却	—	△192	—	192	—	—	—
株式報酬取引	—	6,150	—	—	—	6,150	6,150
所有者との取引額等合計	10,490	16,447	—	192	—	27,130	27,130
2023年3月31日残高	711,186	277,254	141,750	—	132	1,130,324	1,130,324

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

注記	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2022年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	72,414	87,412
減損損失	—	218
減価償却費及び償却費	157,317	156,541
金融収益	△3	△3
金融費用	6,884	7,022
投資有価証券売却益	△20,847	—
棚卸資産の増減額（△は増加）	440	733
営業債権及びその他の債権の増減額 （△は増加）	7,909	45,311
営業債務及びその他の債務の増減額 （△は減少）	△4,601	6,200
契約負債の増減額（△は減少）	1,224	15,726
その他	12,324	△6,605
小計	233,062	312,557
利息の受取額	3	3
利息の支払額	△6,453	△6,552
法人所得税の支払額	△15,612	△20,021
法人所得税の還付額	8,238	5,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,239	291,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△845	△1,166
無形資産の取得による支出	△208,567	△193,219
投資有価証券の売却による収入	102,447	—
その他	△1,360	△14,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,324	△208,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△49,796	45,004
長期借入金及び社債の発行による収入	350,000	98,090
長期借入金の返済及び社債の償還による支出	△82,091	△153,012
リース負債の返済による支出	△64,280	△65,352
株式の発行による収入	390	20,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	154,222	△54,289
現金及び現金同等物の増減額	265,137	28,125
現金及び現金同等物の期首残高	678,449	722,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	943,586	751,085

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	704,516	876,317	1,580,833	—	1,580,833
セグメント間の売上収益	3,517	56,884	60,401	△60,401	—
合計	708,033	933,201	1,641,235	△60,401	1,580,833
セグメント利益	120,954	116,202	237,156	△157,860	79,295
金融収益	—	—	—	—	3
金融費用	—	—	—	—	6,884
税引前四半期利益	—	—	—	—	72,414

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	824,774	918,309	1,743,084	—	1,743,084
セグメント間の売上収益	7,073	29,105	36,178	△36,178	—
合計	831,848	947,414	1,779,263	△36,178	1,743,084
セグメント利益	165,952	144,851	310,803	△216,372	94,431
金融収益	—	—	—	—	3
金融費用	—	—	—	—	7,022
税引前四半期利益	—	—	—	—	87,412

- (注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。
 2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。
 3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

（重要な後発事象）**（単独株式移転による持株会社設立）**

当社は、2022年11月25日開催の取締役会及び2022年12月21日開催の定時株主総会において、単独株式移転の方法により、当社の持株会社である「B B Dイニシアティブ株式会社」を設立することを決議し、2023年4月3日に設立いたしました。

詳細につきましては、B B Dイニシアティブ株式会社が2023年4月3日に公表しました「持株会社体制への移行に関するお知らせ」及び「B B Dイニシアティブ株式会社の設立及び2023年9月期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

（吸収合併契約の締結）

当社は、2023年4月3日開催の取締役会において、2023年6月1日（予定）を効力発生日として、当社を存続会社、当社の連結子会社である株式会社D Xクラウドを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、両社間で合併契約書を締結いたしました。

（1）取引の概要

- ① 被合併会社の名称：株式会社D Xクラウド
事業内容：ビジネスチャット事業

② 合併の日程

取締役会決議日 2023年4月3日
吸収合併契約締結日 2023年4月3日
合併日（効力発生日）2023年6月1日（予定）

③ 合併の方法

当社を存続会社、株式会社D Xクラウドを消滅会社とする吸収合併方式であります。また、本合併は会社法第796条第2項に規定する簡易合併に該当し、消滅会社においては同法第784条第1項に規定する略式合併に該当するため、株主総会における合併契約の承認を得ることなく合併手続きを行います。

④ その他取引の概要に関する事項

両社の統合により、人的資本の有効活用による組織のスリム化を図るとともに、S a a S開発運用の技術力と先端技術によるプロダクト開発ノウハウを融合することで、更なるシナジー効果を創出し、多様化する顧客ニーズへの対応と現在開発を進めている次世代型『Knowledge Suite』のプロダクト開発スピード、及びS a a S販売体制の強化を図ることで、セールステック事業の業容拡大とより一層の市場シェア拡大を図るものです。

（2）業績に与える影響

本合併は、当社の連結子会社との合併であるため、連結業績への影響はありません。

（子会社管理事業のB B Dイニシアティブ株式会社への吸収分割）

当社とB B Dイニシアティブ株式会社は、2023年6月1日を効力発生日（予定）として、当社を吸収分割会社、B B Dイニシアティブ株式会社を吸収分割承継会社として、当社からB B Dイニシアティブ株式会社に対して当社の有する一部の子会社株式に係る権利義務を承継する吸収分割契約を2023年4月3日に締結しました。承継する資産は、株式会社アーキテクトコアの普通株式60株、ネットビジネスサポート株式会社の普通株式300株、ブーストマーケティング株式会社の普通株式900株です。分割に際して交付する金銭その他の財産の交付はありません。